

提出写真のよい例・悪い例

(申請・実績報告写真共通の注意事項)

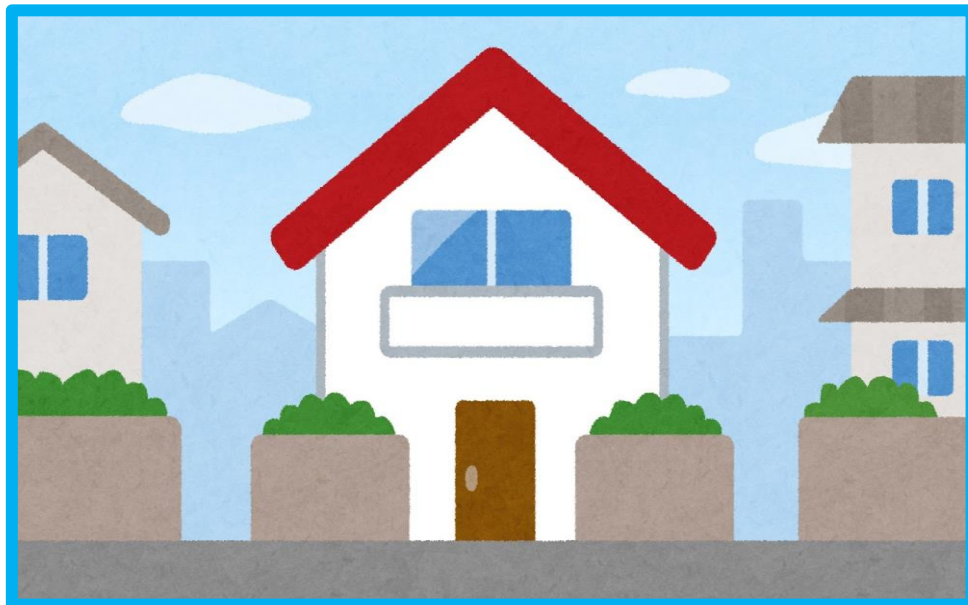
目 次

1 対象住宅の全体写真	1
2 開口部の断熱改修（窓・ドア・ガラス）	2,3,4,5
3 LED照明器具の設置	5,6,7
4 高効率給湯器等の設置	8

1 対象住宅の全体写真

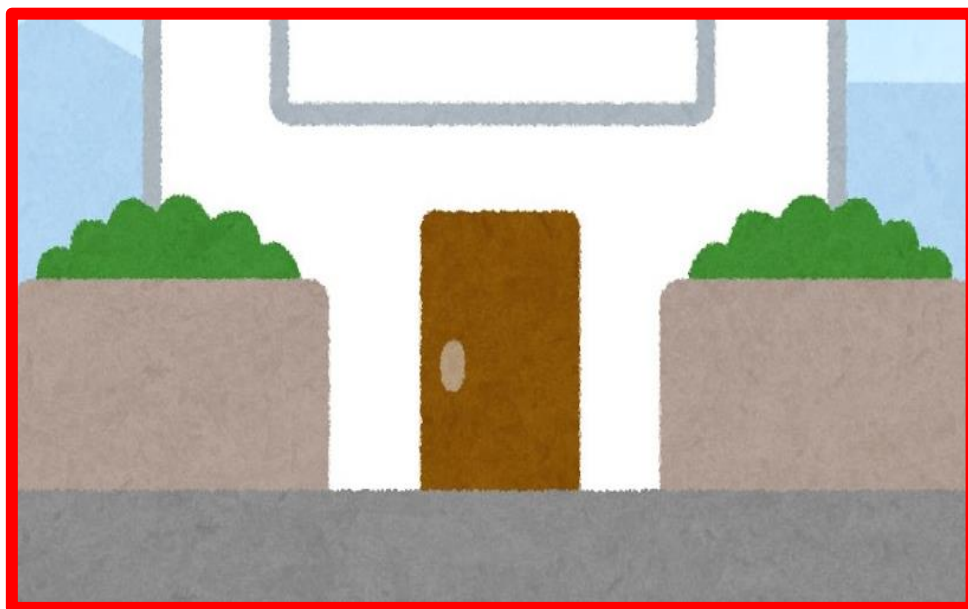
○よい例

- 対象住宅全体が写っている。
- 住宅とあわせて住宅周辺（隣家等）も写っていて、対象住宅が明確に特定できる。



×悪い例

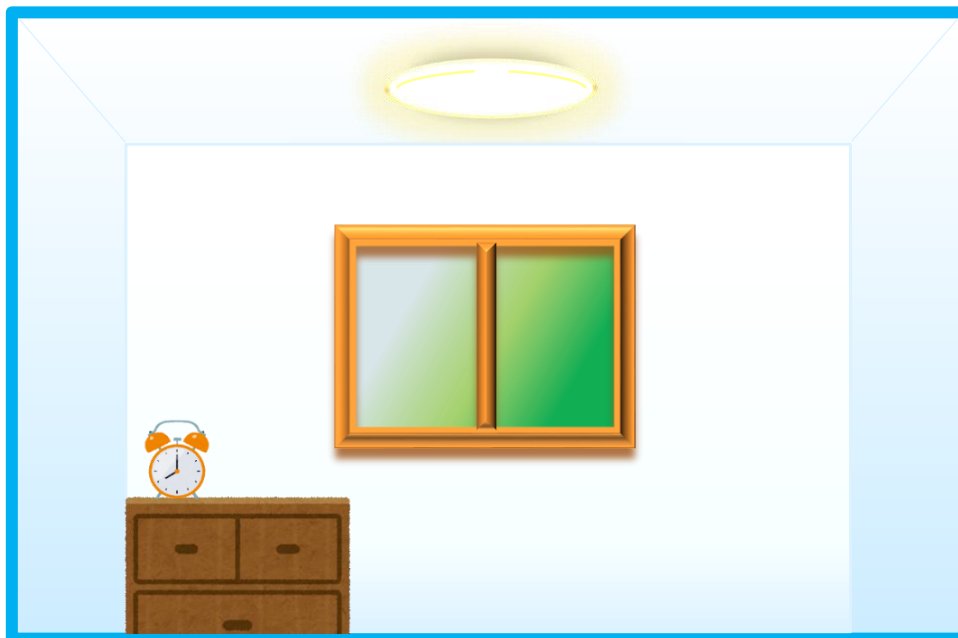
- 建物の一部しか写っておらず、対象住宅が特定できない。



2 開口部の断熱改修（窓・ドア・ガラス）

○よい例

- 窓全体が写り、形状や色味などが明瞭に確認できる。
- 窓本体とあわせて周囲の様子も写し、どの部屋の窓か特定できる。（複数箇所設置の場合に確認するため）



○よい例

- ガラス交換をしたことが確認できる。
- ※ガラス交換の場合は施工前後の見比べが難しいので、施工後の写真は改修直後のシールが貼りついている状態の写真にするなど工夫して撮影すること。（わかりやすくするためアップにしています）



○よい例

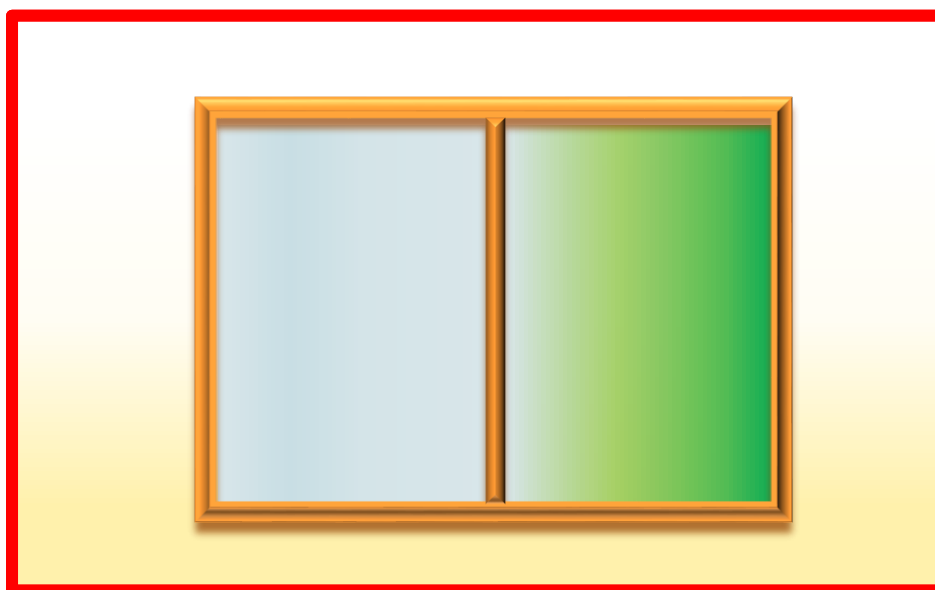
- ・内窓設置をしたことが確認できる。

※既存の窓枠の色と新たに取り付けた内窓の窓枠の色が似ているなど、施工前後の見比べが難しい場合は、施工後の写真で窓枠をずらして撮影したり、斜めから撮影し鍵が2つ確認できるようにするなど工夫して撮影すること。(わかりやすくするためアップにしています)



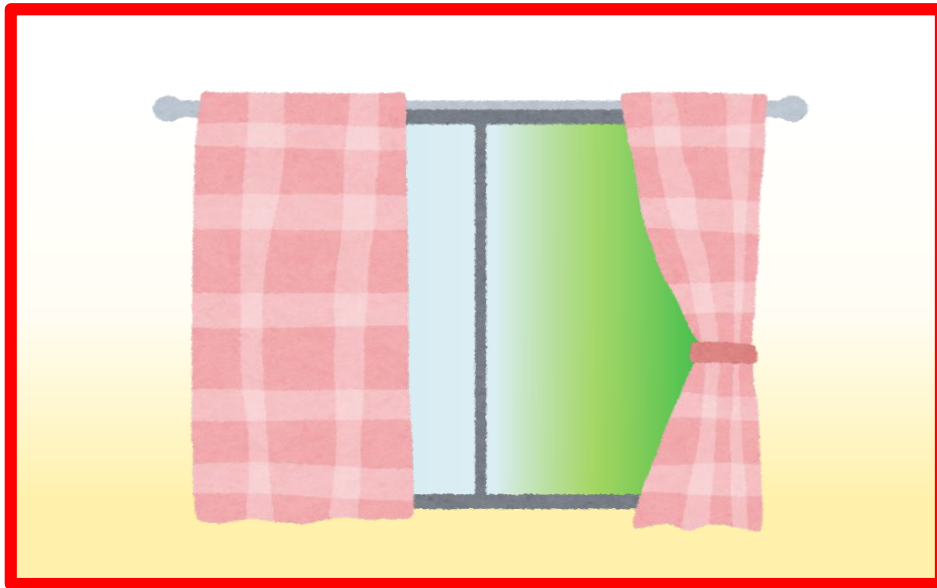
×悪い例

- ・窓しか写っておらず、どの部屋の窓か特定できない。(複数箇所設置の場合に確認するため)



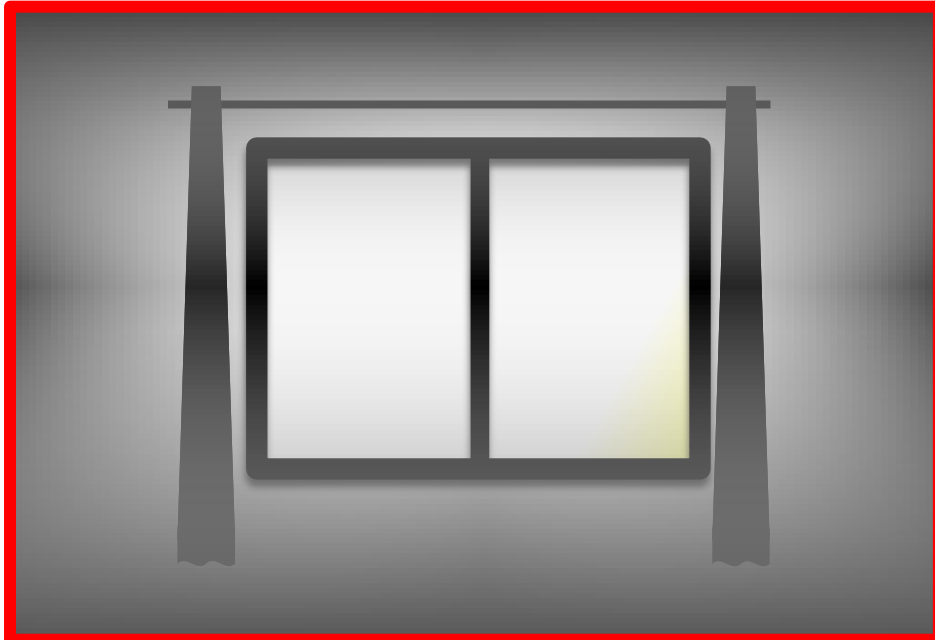
×悪い例

- ・カーテン、障子、ブラインドが閉まっていて、窓の形状や色味などが確認できない。
- ※内窓設置の障子タイプの窓や出窓に設置する場合でも既存の窓を確認したいので、必ずカーテン、障子、ブラインドなどを開けて撮影すること。



×悪い例

- ・逆光で窓の形状や色味などが明瞭に確認できない。



×悪い例

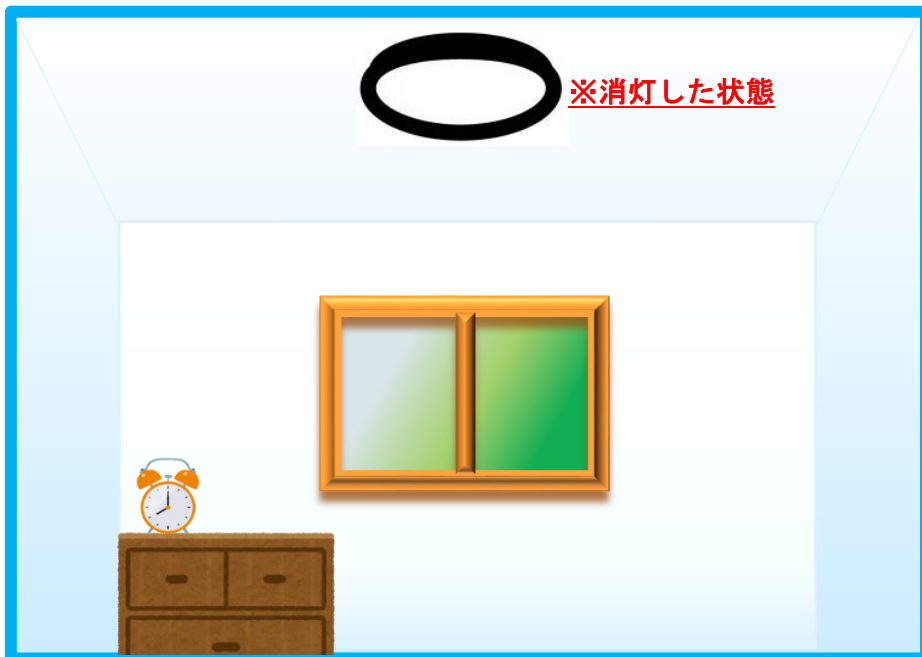
- ・アップすぎて、窓全体が確認できない。



3 LED照明器具の設置

○よい例

- ・照明器具全体が写り、形状や色味などが明瞭に確認できる。
- ・照明器具本体とあわせて周囲の様子も写し、どの部屋の照明器具が特定できる。(複数箇所設置の場合に確認するため)



○よい例（工事途中の写真）

- 工事途中の写真（配線等）で電気工事を行ったことが確認できる。
- 配線が天井や壁から出ている状態で、配線の先が**完全に切れている**ことが確認できる。

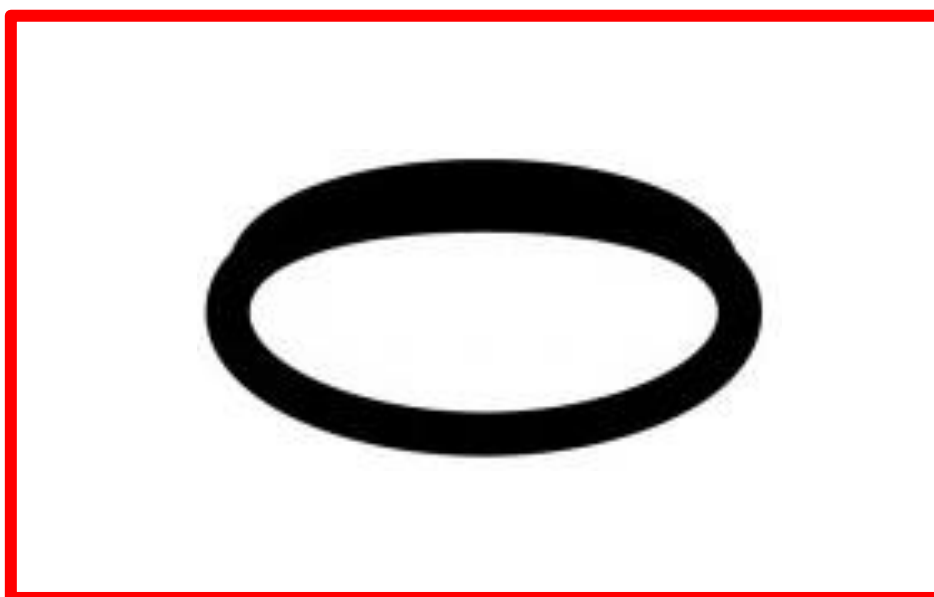
※撮り忘れや不鮮明なものしかない場合は整合確認がとれないため補助金のお支払いはできません。また、対象外な写真とこちらで一度判断したものを再度取り外し、配線を切った写真を再提出する場合も同様に補助金のお支払いができませんのでご注意ください。

- 周囲の様子も写し、どの部屋の照明器具の工事途中か特定できる。



×悪い例 照明器具本体

- 照明器具しか写っておらず、どの部屋の照明器具か特定できない。



×悪い例 照明器具本体

- 照明器具の光で、器具の形状や色味などが確認できない。



×悪い例 (工事途中の写真)

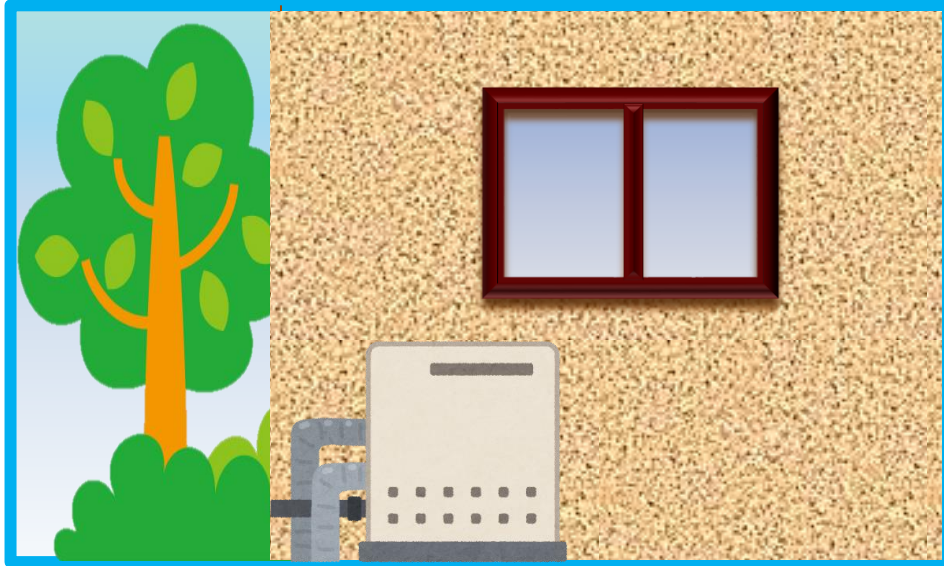
- 配線の先に引掛けシーリングが付いている状態で、電気工事を伴った設置をしたことが確認できない。
- ※配線の先に引掛けシーリングなどが付いている状態のものは補助要件を確認できないので対象外とさせていただきます。
- 機器しか写っておらず、どの部屋の照明器具の工事途中であるか特定できない。



4 高効率給湯器等の設置

○よい例

- 給湯器本体とあわせて周囲の様子も写し、どの家の給湯器か特定できる。
(申請写真と実績報告写真が比較できる。)
- 給湯器を正面から撮影し、ラベルや形状が確認できる写真だとなおよい。



×悪い例

- 機器しか写っておらず、どの家の給湯器か特定できない。
(申請写真と実績報告写真が比較できない。)

